

第2 前計画の最終評価

「健康おおだて21」の計画の最終年度に、市民への「健康づくりアンケート調査」や各種健診（検診）事業などの結果をもとに評価し、国や秋田県の状況などと比較しながら分析を行いました。

1. 目標達成状況と評価方法

● 指標の目標達成状況

	計	栄養 食生活	身体活動 運動	こころの 健康	たばこ	アルコール	歯の健康	糖尿病 循環器疾患	がん
指標数	43(100%)	5	3	3	5	2	5	8	12
評価 の内 訳	○	12(27.9%)		2	1	2	2	4	1
	△	10(23.3%)	2			1			7
	×	1(2.3%)			1				
	—	20(46.5%)	3	1	1	2		1	12

各指標は、基準年（平成14年度）又は平成20年度と平成24年度の値を χ^2 検定を用いて評価しました。

○	改善
△	不変
×	悪化
—	評価なし（制度変更や数値を把握できないため評価できないもの）

● 評価の概要

[改善が見られたもの]

- ・「身体活動・運動」分野では、日頃から積極的に体を動かす人や運動習慣のある人の割合が増加しました。
- ・「アルコール」分野では、適度な飲酒量を認知している人の割合の増加や妊婦の飲酒割合の減少が見られました。
- ・「たばこ」分野では、たばこが及ぼす健康への影響を認知している人の割合が増加しました。
- ・「歯の健康」分野では、定期的に歯科健診を受けている人の割合が増加しました。子どものう歯については、3歳児のう歯罹患率、12歳児の1人平均う歯数が減少しました。また、フッ化物洗口を実施している施設数が増加しました。

[改善が見られなかったもの]

- ・「栄養・食生活」分野では、大きな変化が見られませんでした。
- ・「糖尿病・循環器疾患」分野では、適正体重者の割合、肥満者の割合や腹囲の基準値を上回る人に変化はみられませんでした。特定健康診査の結果では、血圧値の基準値を上回る人は減少しましたが、血糖検査と脂質検査では、要受診者の割合は減少しませんでした。

〔評価ができなかったもの〕

- ・指標の数値が把握できない項目や未調査の項目がありました。
- ・健康診査では、平成14年度基本健康診査項目で基準値を設定しましたが、法律の改正により平成20年度から、特定健康診査が開始されたため数値は比較できず参考値としました。
- ・がん検診では、各検診の受診率向上を目標としましたが、対象者と受診率の算定方法が年度によって異なっているため、基準年との比較はできませんでした。

2. 分野別評価

各表：単位%

(1) 栄養・食生活 目標：バランスのとれた食事で、食を楽しみ、健康的な食習慣を身につける

指 標	年度（平成）			評 価
	14	20	24	
毎日朝食をとる人の割合の増加	86.0	未調査	85.7	△
主食、主菜、副菜を揃えて食べる人の割合の増加	未調査	未調査	63.2	—
野菜を1食に一皿（中皿）食べる人の割合の増加	30.3	未調査	28.0	△
食事を適量（腹七分目）食べている人の割合の増加	未調査	未調査	未調査	—
減塩を意識して食べる人の割合の増加	未調査	未調査	60.9	—
（参考値） 塩分摂取の状況で「問題なし」の割合	(27.2)			

(2) 身体活動・運動 目標：快適に身体を動かし、いきいきとした生活を送る

指 標	年度（平成）			評 価
	14	20	24	
日頃から積極的に体を動かす人の割合の増加	33.2	47.8	59.6	○
運動習慣のある人（1日30分以上週2回以上）の割合の増加	8.6	21.1	26.9	○
運動の効果を知っている人の割合の増加	未調査	未調査	96.8	—

(3) こころの健康づくり 目標：上手にストレスを解消し、いきいきとゆとりある生活を送る

指 標	年度（平成）			評 価
	14	20	24	
日常生活でストレスを感じた人の割合の減少	45.6	69.3	66.2	×
睡眠によって休養が十分とれていない人の減少	50.9	23.0	17.5	○
相談窓口を知っている人の割合の増加	未調査	未調査	未調査	—
（参考値） 困ったときの相談相手：行政、民間の相談窓口と答えた割合		(2.8)	(5.5)	

(4) たばこ 目標：たばこの害から身を守る

指 標		年度（平成）			評価
		14	20	24	
たばこがおよぼす健康への影響について 認知している人の割合の増加	脳卒中	18.9	38.8	47.2	○
	心臓病	30.9	44.5	43.8	○
	妊 婦	62.9	69.5	67.1	△
受動喫煙の害を知っている人の割合の増加		未調査	未調査	未調査	—
たばこの害を知っている未成年者の割合の増加		未調査	未調査	未調査	—

(5) アルコール 目標：適正な飲酒を心がける

指 標		年度（平成）			評価
		14	20	24	
適度な飲酒量を知っている人の割合の増加		18.9	65.4	60.9	○
妊婦の飲酒者の減少		12.5	3.2	4.1	○

(6) 歯の健康 目標：歯への関心を高め、歯を大切にする

指 標		年度（平成）			評価
		14	20	24	
定期的に歯科健診を受けている人の割合の増加		12.3	24.4	26.5	○
3歳児のう歯罹患率の減少		42.8	41.6	25.7	○
12歳児の1人平均う歯本数（DMF指数）の減少		2.99本	1.96本	1.22本	○
フッ化物洗口を実施している施設数の増加		未実施	6施設	30施設	○
夕食後の歯磨きをする人の割合が90%（義歯の洗浄含む）		未調査	未調査	80.8	—

(7) 糖尿病・循環器疾患 目標：生活習慣を改善し、糖尿病、脳卒中、心臓病などを予防する

指 標	年度（平成）			評価 H20 と比較	
	14 (参考値) 注1	20 注2	24 注2		
肥満者（BMI 25.0 以上）の割合の減少	(28.8)	25.9	25.4	△	
適正体重者 ^{注3} の割合を増やす	(66.9)	68.4	69.2	△	
腹囲の基準値（男 85 cm以上 女 90 cm以上）を上回る人の減少	未実施	30.3	29.9	△	
血糖検査において 要受診者の減少	HbA1c ^{注4} 6.1%以上の割合	未実施	6.7	7.5	△
	空腹時血糖 126mg/dl 以上の割合	(4.1)	4.6	4.8	△
脂質検査において 要受診者の減少	中性脂肪 300mg/dl 以上の割合	(3.2)	2.8	3.3	△
	HDL コレステロール値 34mg/dl 以下の割合	(2.1)	2.2	1.7	△
血圧値の基準値を上回る人の減少 (収縮期血圧 140mmHg 以上かつ/または拡張期血圧 90mmHg 以上の割合)	(35.7)	29.5	23.6	○	

注1 参考値：平成14年度基本健康診査全受診者（旧大館市、旧比内町、旧田代町）より算出。後期高齢者受診者を含み比できないため参考値とする。

注2 平成20年度、24年度の特健康診査受診者（40歳以上74歳以下）より算出、法定報告受診者とは異なる。

注3 適正体重はBMI 18.5～25.0未満。

注4 HbA1cはJDS値による。

(8)が ん 目標：生活習慣の改善でが んを予防する
検診を受け、早期発見に努める

指 標	年度（平成）			評価
	14	20	24	
がん検診を受診する人の割合 ^{注5} の増加				
胃がん検診受診率	7.9	9.9	7.8	—
子宮がん検診受診率	11.3	18.3	23.2	—
乳がん検診受診率	9.6	6.7	16.9	—
大腸がん検診受診率	9.8	15.5	16.0	—
肺がん検診受診率	20.8	15.8	14.7	—
前立腺がん検診受診率	未実施	未実施	16.8	—
精密検査受診率 ^{注5} の増加（人間ドック受診者を除く）				
胃がん検診	88.3	91.7	87.4	—
子宮頸がん検診	83.3	100	91.5	—
乳がん検診	100	95.7	95.6	—
大腸がん検診	79.8	76.2	75.9	—
肺がん検診（結核検診精密検査含む）	85.7	80.0	71.4	—
前立腺がん検診	未実施	未実施	45.5	—

注5 対象者数と受診率の算定方法が同一でないため比較できない。（対象者数は平成23年度から全県で統一基準で算定）